

平成25年度

湯沢砂防だより

No.14

平成25年7月16日

国土交通省 湯沢砂防事務所

～メキシコ人留学生の方々に砂防堰堤工事を現場で学んで頂きました～

7月9日に長岡技術科学大学のメキシコ人留学生6名の方々が、芋川流域の長岡市山古志を訪れ、中越地震で発生した東竹沢河道閉塞の現在の状況と「冷子沢第2号砂防堰堤外工事」の施工状況を見学しました。

砂防堰堤を工事している芋川支川の冷子沢川流域は、中越地震により多くの崩壊が発生し不安定土砂が多く堆積しており、「平成23年新潟福島豪雨」の際も大量の土砂流出があった溪流です。

留学生の方々には、砂防堰堤の効果について理解を深めて頂いたともに、出水に備えた仮設計画や堰堤上流に堆積した土砂の処理方法について学んで頂きました。



東竹沢河道閉塞の発生状況とその対策の説明



郷見庵にて冷たいお茶ときゅうりで休憩



仮排水路計画の説明



仮排水路設置に伴う堆積土砂の処理方法の説明

当日は炎天下での見学になりましたが、郷見庵での冷たいお茶と採り立てのキュウリで元気をもらい、留学生の方々は熱心に学ばれていました。

郷見庵の方々には、説明の際にテント内を貸して頂いたり、冷たいお茶など提供して頂きました。ありがとうございました。